

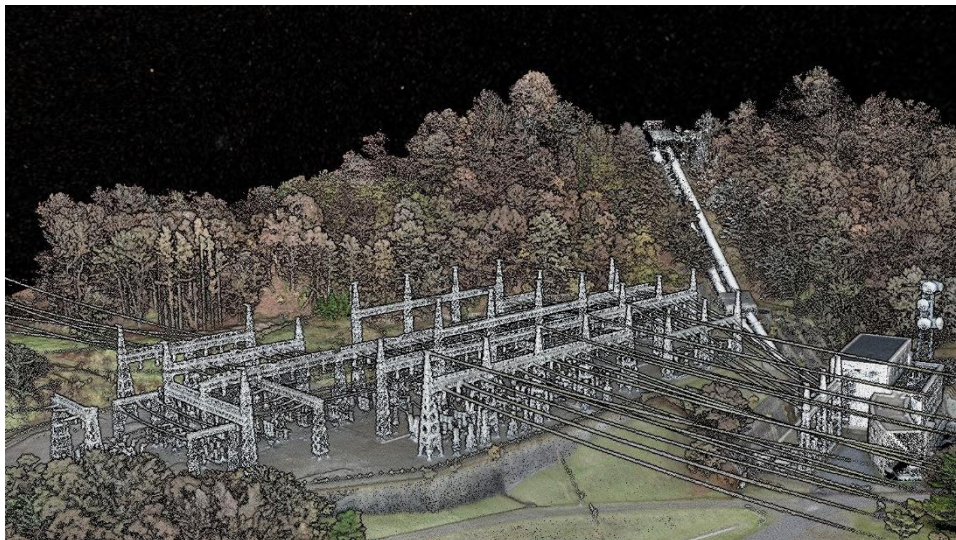
2021 年 11 月 18 日

電源開発株式会社
KDDI 株式会社

Jパワーと KDDI 共同で、全国約 40 カ所の電力設備の ドローン点検実証を実施

電源開発株式会社（以下、Jパワー、本社:東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員:渡部 肇史）と KDDI 株式会社（以下、KDDI、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:高橋 誠）（Jパワーと KDDI とを合わせて以下、両社）は、全国に所在する Jパワー保有設備のドローン点検実証を、水力発電設備約 40 カ所を皮切りに、2021 年 11 月 1 日から順次実施しています。ダム・配電線・建屋等の電力関連設備をドローンで撮影、三次元モデル化し、設備異常の自動検出や経年劣化状況の解析といった技術を用いて、作業効率化、既存の点検作業との精度の比較や代替可能性等を検証します。

なお、Jパワーは KDDI の協力の下、2021 年 8 月に設備点検でのドローン活用を推進する総合窓口（以下、本窓口）を Jパワー社内に設置しています。今回の全国点検実証後も、本窓口を通じて Jパワーの電力設備点検技術と、KDDI のドローン飛行・運用技術を組み合わせ、水力発電・火力発電・風力発電等の電力設備のドローン点検への取組みを推進していきます。



<実証で撮影したデータから三次元モデル化した例：糠平発電所>

Jパワーは、これまで電力設備点検の安全性向上や作業時間・コストの削減に向け、送電線・架空地線自律撮影技術を使った送電設備点検ドローンの技術開発等、ドローン利活用推進に取り組んできました。その取組みの中で、2020年9月からKDDIと共同で、風力発電設備においてドローンのオートフライト機能（自動航行機能）を活用したブレード（風車の翼部分）点検実証を実施し、点検時間を従来の10分の1程度に短縮することに成功しました。2021年5月からは、67基の風力発電設備を対象にオートフライト機能を活用したドローンによるブレード点検を開始し、全て完了しています。

KDDIは、ドローンが日常生活を支えるインフラとして、物流・監視・農業等の様々な分野で活躍する社会の実現に向け、4G LTE等のモバイル通信でドローンを遠隔制御し、安全な長距離飛行を実現するスマートドローンプラットフォームを開発・提供しています。

・スマートドローンホームページ (<http://smartdrone.kddi.com/>)

両社は今後も、ドローンによる電力設備点検等を通じた協力関係の下、様々な解決策を提案し続けると共に、一層の電力設備の保守高度化・効率化に資する取組みを推進していきます。

詳細は別紙をご参照ください。

以 上